



f facebookページ開設中! 『いいね!』を押してください。

正門前で造形表現の学生

## izumi NEWS Vol.23

和泉短期大学 広報渉外ユニット

発行責任者 理事長 深町 正信

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1

TEL.042-754-1133 (代表)

URL.http://www.izumi-c.ac.jp

## — 目次 — CONTENTS

**特集** 認証評価を活かし、さらなる和泉の発展へ ..... 2

<b>izumi TOPIC</b>	●相模原市との包括連携協定締結.....	3
	●全国私立短期大学体育大会結果 .....	4
	●クリスマスツリー一点火祭 .....	5
	●「造形表現」第19回公演 .....	5
	●「教育環境充実資金」募金のお礼とお願い.....	6



# 認証評価を活かし、さらなる和泉の発展へ



教務部長・ALO※教授 鈴木 敏彦

すべての大学・短期大学等は、学校教育法の規定により、7年に一度、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価(認証評価)を受けることが義務付けられています。認証評価制度は2004年度から導入され、本学では2007年度に初めての認証評価を受審し、認証評価機関の一つである「短期大学基準協会」の定める短期大学評価基準を全て満たしているとして、「適格」の認定を受けました。2014年度は第二回目の受審年となり、前回と同様に「短期大学基準協会」による、認証評価のための訪問調査が9月30日から10月2日の3日間にわたり行われました。

大学が第三者の視点からの評価を受けることの意義としては、①教育の継続的な質の保証を図る、②評価結果が公表されることにより大学が社会による評価を受ける、③評価結果を踏まえて大学が自ら改革・改善に取り組む等が挙げられます。大学は、各校の「建学の精神」に基づき、それぞれの伝統や個性等を大切にしながら教育を行っていますが、他方で高等教育機関としての社会的役割を果たすことが求められています。大学での教育や経営が独善的なものに陥らず、健全な発展を遂げていくために外部からの評価である認証評価の実施は欠かせません。

認証評価では、「4つの評価基準」(基準Ⅰ・建学の精神と教育の効果、基準Ⅱ・教育課程と学生支援、基準Ⅲ・教育資源と財的資源、基準Ⅳ・リーダーシップとガバナンス)に基づき32項目にわたって大学全体が評価を受けます。ただし、認証評価の受審は、評価機関の調査を受け入れるという受け身の姿勢では成り立ちません。本学では、受審の約一年前から、教職員が一丸となり受審に向けた学内の体制等を十分に整備し、あらかじめ評価基準に従い自己点検・評価を行い必要な改善等を図ってきました。認証評価で大切なことの一つは、大学が客観的な指標に基づき主体的に自己点検・評価を行うことです。本学では、認証評価制度が開始される以前の1996年度から、当時の理事長・平良先生、学長・讃岐和家先生のリーダーシップのもと、独自に自己点検・評価を実施し教育の質の向上に努めてまいりました。本学において、「評価の文化」が根付いていたことは、今回の受審に際して大きな力となりました。

訪問調査では、他の短期大学において第一線で活躍する4名の先生方を評価員としてお迎えいたしました。本学からは、深町理事長、佐藤学長、土橋事務局長をはじめ、大学の管理職が対応にあたりました。3日間にわたる訪問調査のスケジュールとしては、1日目(9月30日)に評価員打合せがなされ、本格的な調査となる2・3日目(10月1日・2日)ではALOとの事前打合せ、面接調査(1セッション90分の調査を3回)、学内視察、評価員打合せ等が行われました。面接調査では、上記の4つの評価基準をもとに活発な質疑応答がなされました。本学では周到な準備を行っておりましたが、外部の先生方からは多様な質問を頂戴し、評価すべき点、さらなる取り組みが求められる点等のご指摘を頂きました。評価結果の公表は2015年3月に予定されているためここでは詳細を述べることはできませんが、見識ある先生方との対話から、本学のさらなる発展に向けた取組みを進めるうえでの多くの示唆を得ることができました。

ある調査員の先生から頂戴した「学生の皆さんの明るい挨拶を見れば、和泉の教育の素晴らしさがわかる」とのお言葉は何にも代えがたい喜びでした。大学の教育の成果は、「学生や卒業生の姿」に集約されていると言っても過言ではありません。今回の認証評価の受審を契機に、本学がたゆまぬ自己改革を図り、地域に根ざした実践力のある保育・福祉専門職を養成に邁進する「リ・スタート」にいたいと考えます。

※ALO：Accreditation Liaison Officer：第三者評価連絡調整責任者

## 相模原市との包括連携協定締結

11月18日(火)相模原市役所(本庁舎2階第1特別会議室)において、相模原市と市内の5大学(青山学院大学・麻布大学・和泉短期大学・桜美林大学・女子美術大学)との包括連携協定締結式が行われました。

本学からは代表として深町理事長、立会人として佐藤学長、土橋事務局長が出席しました。

開会宣言、出席者紹介、協定書の説明の後、加山市長、各大学の理事長、学長が包括連携協定書に署名を行いました。加山市長よりご挨拶の後、各大学代表者より挨拶がありました。締結式終了後に、加山市長との記念写真撮影がありました。

### 【連携協定の内容】

①健康・福祉 ②防災 ③教育・文化 ④環境保全 ⑤まちづくり ⑥産業・経済 ⑦相互に連絡し協力することが必要と認められる事

本学では既に相模原市の18委員会から本学教員が委嘱されています。今後もより一層、相模原市に貢献してまいります。



## 第6回(2014年度)教育研究会を開催しました

11月10日(月)、相模原市内12校の高等学校から、校長先生、副校長先生など先生方にご参加を頂き、第6回教育研究会を開催いたしました。

鈴木敏彦教授・教務部長より「子ども・子育て支援新制度と和泉短期大学の専門職養成教育」の話題が提供され、その後に意見交換が行われました。

各高等学校の先生方から頂きましたご意見などを参考として、地域に根ざした短期大学として、今後とも市内高等学校との連携強化に力を注いでいく所存です。



## 神奈川県立高校教員の社会体験研修 ～3日間(8月19日(火)～21日(木))を終えて～



神奈川県立相模田名高等学校 武藤 貴之先生

研修1日目の図書関連業務では、原簿処理や業者とのやり取りにかかわらせて頂きました。恥ずかしながら図書館がどのように運営されているのかわからなかったのですが、これらの業務をしたり、担当の方にいると教えてもらった結果、図書館の運営の流れが理解できました。

研修2、3日目の広報関連業務では、資料準備、会場準備、当日のサポートにかかわらせて頂きました。業務を通して、広報活動にとても熱い思いで取り組んでいることが分かりました。また、オープンキャンパス当日は、学生スタッフを中心となって運営していることに驚きました。相模田名高校の卒業生も学生スタッフとして活躍しており、「行事の運営にやりがいを感じている。また学生生活が充実していてとても楽しい。夢である保育士を目指して日々頑張っている。」と言っていました。卒業生の充実した話を聞いて、私もうれしい限りです。学生スタッフの方が生き生きと楽しそうに活躍していたのがとても印象的でした。当日は保護者説明とAO入試ガイドを聞かせて頂きました。説明はとても熱意があつて非常に分かりやすく、私自身とても参考になりました。

3日間を通じて、パンフレットやウェブサイトでは知ることができない雰囲気やカラー、熱意を感じることができました。また、和泉短期大学のことに加えて、児童福祉分野のことを幅広く理解することができました。

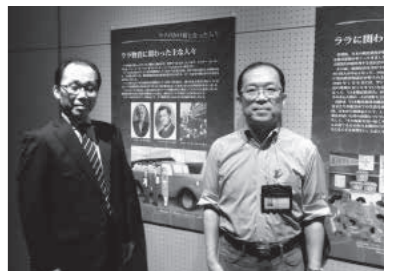
## 「ララ物資」特別展を視察しました

本法人の土橋正文事務局長が、JICA横浜・海外移住資料館で開催されている「終戦69年特別展示 ララってなに?日本を助けたおくりものーララ物資にみる海外日系人との絆」(開催期間8月2日～10月26日)を視察しました。

ララ救済物資中央委員長G.E.バット博士は、学校法人クラーク学園(現在の学校法人和泉短期大学)の名称の由来となったJ.C.クラーク博士や、V.J.ミルス博士とともに、敗戦直後の日本の困窮児を救済するため尽力されました。本学の前身である福祉従事者の現任訓練機関・バット博士記念養成所にその名が冠され、また、現在でも本学とつながりがあるバット博士記念ホームにその名が残されています。

今回の視察では、本学の設立の背景の一つともなっているララ物資の展示資料を通して、本学が生まれた時代背景を確認することができました。また、当時ララ物資を送った側にいた日系人の方々(ララ物資救済活動に貢献した日系団体は、36団体)の思いや絆も感じることができました。

なお、JICA横浜海外移住資料館 小嶋茂 学芸担当によると、日系人の中でも今ではララ物資を知らない人が増えているとのことでした。支援を送った側の資料があまり残っていないため、今回のような展示資料をきっかけとして、資料が集まればという思いもあるそうです。



JICA横浜海外移住資料館学芸担当 小嶋茂様(写真右)より説明をいただきました。



# 第49回全国私立短期大学体育大会 結果報告

9月1日(月)～4日(木)に開催された、第49回全国私立短期大学体育大会に、和泉短期大学からは女子バドミントン(3回目)、女子バスケットボール(6回目)、男子バスケットボール(5回目)の各競技に出場しました。

## ●バドミントン女子シングルス健闘、ベスト8(於:南足柄市体育センター)

バドミントン女子はダブルスに1年生ペア、シングルスに1年生1名が出場し、ダブルスは初戦を突破、シングルスは3回戦を勝利しベスト8となりました。

試合の結果は以下のとおりです。

ダブルス(出村・武藤)

1回戦	vs杉野服飾大学短期大学部	2-0	勝利
2回戦	vs山陽学園短期大学	0-2	敗退



シングルス(鈴木)

1回戦	不戦勝		
2回戦	vs北海道武蔵女子短期大学	2-0	勝利
3回戦	vs聖和学園短期大学	2-0	勝利
4回戦	vs大妻女子大学短期大学部	0-2	敗退



BEST 8

## ●女子バスケットボール Aブロック1回戦突破(於:狭山市民総合体育館)

女子バスケットボールサークルは2011年にBブロックを制し、2012年からAブロックに昇格しています。強豪の揃うAブロックで、昨年に続き初戦突破の目標を果たしました。

試合の結果は以下のとおりです。

1回戦	vs愛知学泉短期大学	67-54	勝利
2回戦	vs近畿大学九州短期大学	22-124	敗退



## ●男子バスケットボール 1回戦突破(於:入間市市民体育館)

男子バスケットボールサークルは5回目の出場です。2年ぶりの初戦突破をしましたが、2回戦はケガ等でメンバーが揃わず、残念ながら棄権することになりました。

試合の結果は以下のとおりです。

1回戦	vs松山短期大学	145-8	勝利
2回戦	棄権		



# 第48回いずみ祭

第48回「いずみ祭」を10月25日(土)・26日(日)の2日間、「わくわくを届けよう～笑顔あふれるいずみ祭」をテーマとして開催し、多数の方にご来場いただきました。ありがとうございました。

## ♪ 学生たちの声 ♪

○「昨年は台風で中止でしたが今年 は天候にも恵まれ大盛況でした。」



## 第2回 サンクスギビングフェア

●10月22日(水)

### 【主な内容】

- 学生食堂 100円ランチ…「ハロウィン オムライス(100食) & カレーライス(66食)」(ジャンケンゲーム付)
- コンビニ全品20% OFF! ～買い物をした人は"くじ引き"付き～
- COLD商品 コカ・コーラ、カルピスソーダ、ファンタメロンソーダ 無料! (200杯限定)

### ♪ 学生たちの声 ♪

- 「ハロウィンオムライス ☆可愛いだけでなく美味しかったです☆」
- 「学食の調理員さんとのジャンケンゲーム☆盛り上がりました!」



学生たちは毎回フェアを楽しんでいます。どの企画も大好評♪ 笑顔いっぱい♪ 売り切れ続出でした。ご協力いただきました協力会社の皆さまに感謝いたします。

## 第3回 クリスマスフェア

●12月17日(水)

### 【主な内容】

- 学生食堂 100円ランチ…「ChristmasトンドリーチキントマトとチーズのWソース(150食) & カレーライス(50食)」(ジャンケンゲーム付)
- コンビニ全品20% OFF! ～買い物をした人は"くじ引き"付き～
- COLD商品+HOT商品 コーヒー、ミルクココア、ロイヤルミルクティ、和みのりんご無料! (合計200杯限定)

### ♪ 学生たちの声 ♪

- 「ポスターを見て2週間前から友達と一緒にワクワクしてました!」
- 「いつもより安いコンビニ☆ちょっと買い過ぎたかも(笑)」



# 図書館主催行事

## 「パネルシアターの会」を開催しました

11月29日(土)の午前、「パネルシアターの会」を開催しました。講師はパネルシアター作家の小林雅代先生です。前半はパネルシアターの説明や、子どもへの演じ方のポイントについて実演を交えながら教えていただきました。

後半は、実際に自分たちでパネルシアターに絵を描いてみます。小林先生から、描き方や専用のPペーパーへの彩色のコツを教えてくださいました。



## 「紙芝居の会」を開催しました

11月29日(土)の午後、「紙芝居の会」を開催しました。講師は紙芝居実演家の菊池好江先生です。前半は紙芝居実演のコツを教えてくださいました。先生は紙芝居と絵本の違い、特にそれぞれの特徴に応じた使い方などを大変分かりやすく話して下さいました。

後半は、実際に自分たちで紙芝居の実演を行いました。和泉短期大学図書館には貸出可能な紙芝居が950冊あります。この中から自由に選んで、下読み、実演を行いました。



1月から初めての実習を迎える1年生にも、4月から保育現場に立つ2年生にとっても大変役に立つ内容でした。

# クリスマスツリー点火祭

12月1日(月) 夕刻。

救い主イエスキリストのご降誕を待ち望むクリスマスツリー点火祭を、和泉クラーク・ホールで行いました。学生チャペル委員の進行により、ハンドベルの演奏、聖歌隊の讃美、和泉クリスチャンフェローシップ(ICF)による聖誕劇と進み、「クリスマスツリー、点火!」の宣言に合わせ電飾点灯。祭壇上のツリーと和泉クラーク・ホール前のモミの木、1号館、4号館内にある2本のツリー全てに灯りが一斉にとり、一体感の中で喜びを分かち合うことができました。

イエス様の十字架から降り注ぐこの光によって、お一人お一人の心に、神様による平和と希望の光がともされますようにお祈りいたします。



# はっぴいクリスマスコンサートを開催しました

12月6日(土)、和泉クラーク・ホールにおいて、子育てひろば「はっぴい」のクリスマスコンサートを開催しました。当日は、はっぴい参加親子33家族85名と、入学前教育プログラムのひとつとして来年度入学予定の高校生、また、多くの地域のご家族にご来場いただきました。

選択科目「ハンドベル」履修学生によるハンドベル演奏、オルガニストの石井三枝子非常勤講師によるパイプオルガン演奏、ICF学生による聖誕劇、学生聖歌隊による讃美など盛りだくさんの内容で、ご来場の皆さまに楽しんで頂くことができました。

また、参加されたお子様たちには、サンタクロースからプレゼントが手渡されました。

～ 多くの方のご来場、誠にありがとうございました。～



# 「造形表現」履修学生による第19回公演が行われました



12月6日(土)、「造形あそび」(選択科目)を履修する2年生(8名)、1年生(10名)による第19回公演が行われました。

18名全員の力を合わせて「竜宮城へ行ったオサル」を公演しました。在学中に「造形あそび」を履修した多くの卒業生も家族で駆けつけ、後輩たちの熱演を熱心に応援・鑑賞していました。

公演終了後に、卒業生でプロシンガーとして活躍中のエミさん(36期卒業生 中村 絵美)、スミさん(36期卒業生 角 彩子)のライブコンサートが開催され、その歌声に大勢の観客が魅了されました。

# 第2回 子ども体験イベントがユニコムプラザ(ポーノ相模大野)で開催されました

12月7日(日) 10:30～15:00、ユニコムプラザさがみはら(ポーノ相模大野)が、子どもたちの歓声と熱気に包まれました。和泉短期大学と北里大学ボランティア学生が中心となり昨年に引き続き開催された「こども体験イベント ここに魚が?!遊び場が?! ～作って、遊んで、見て、知って～」と名づけられたイベントには、来場者635名(大人305名、乳幼児244名、小学生以下86名)、関係者も合わせれば700名を超える多くの方が参加しました。

※文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善、充実、体制、整備事業」





## 私の好きな聖句

チャプレン 伊藤 忠彦

「恐れることはない。ただ信じなさい。」マルコによる福音書5章36節。

私にも好きな聖句があります。しかし、聖書の言葉(聖句)は、全て神の言葉であると信じ、語ってきた者として、どれが好きかと問われても迷い窮してしまいます。思い至ったのは、今から45年前に牧師を目指して学んでいた神学大学の恩師から、祝いに戴いた右の写真にある手書きの聖句です。これは、住居を4度移転することになり、書斎もかわりましたが、戴いてより45年、ずっと書斎の壁に掛けられてきただけでなく、ことあるごとに私の心に語りかけ、力となった座右の銘(ぎゆうのめい:書きとめ、傍らに備え自分を戒める言葉)と言える聖句でした。

天地の造り主、御子イエス・キリストは、不安と恐れの中にある私たちに、恐れることはない、ただ私を信じて全てをゆだねるがよい、そうおっしゃってくださいなのです。



## 2014年度『教育環境充実資金』募金のお礼とお願い

学生の教育環境を一層充実させるために、夏期休業期間に1号館、2号館の屋上防水塗装工事をを行い、104、203、303各教室にプロジェクター、スクリーンを設置しました。

多くの皆様にご賛同を頂いた寄付金を活用させていただきます。  
引き続き教育内容充実に必要な費用、施設拡充のため「教育環境充実資金」募金への協力をよろしくお願い申し上げます。

- ご寄付者数 31件 (2014年8月1日～2014年11月30日)
- 募金額 **272,000円**
- 対象事業募金合計額 59件 1,117,000円 (2014年11月30日現在)
- 募金対象事業
  - 1) 1号館、2号館屋上防水塗装工事 (工事完了)
  - 2) 教室プロジェクター、スクリーン設置 (設置完了)
  - 3) 震災・災害対策他
- 募金目標額 5,000,000円
- 期間 2014年6月～2015年3月
- 寄付金 1口5,000円
- 募金担当 和泉短期大学『経理・施設ユニット』 [042-754-1133] にお問い合わせください。



寄付者一覧(敬称略)  
(2014年8月1日～  
2014年11月30日)

- |         |        |
|---------|--------|
| 市川 信子   | 澁谷 昇   |
| 太田 耕造   | 杉山 五月  |
| 大塚 真光子  | 須山 加奈  |
| 小野 香保   | 曾根 真理子 |
| 亀井 朝日   | 鷹野 直子  |
| 川瀬 富枝   | 出村 泰浩  |
| 河村 裕文   | 戸田 美穂  |
| 木谷 美知子  | 豊福 義彦  |
| 北原 歌子   | 仲澤 眞   |
| 木下 重夫   | 中道 由紀子 |
| 小林 沙織   | 松山 由佳子 |
| 坂間 洋美   | 三橋 信博  |
| 佐久間 志保子 | 森久保 和子 |
| 佐々木 美佐子 | 谷田貝 幸男 |
| 佐藤 町子   | 吉岡 繁男  |
| 柴田 安夫   | 以上31名  |

法人事務局

ご寄付をいただきました皆様方に心から感謝申し上げます。

2014年度の上記期間の募金につきまして寄付者ご芳名をまとめさせていただきました。

なお、法人事務局が受理いたしました日付で処理いたしております。多少のずれが生じている方もあるかと存じますが何卒ご了承をお願いいたします。

## 専攻科介護福祉専攻

1年間の学びを修めると介護福祉士国家資格取得

(2015年度修了生は国家試験が免除されます!)

「大介護時代」到来で、光る「介護福祉士」国家資格。  
あなたのキャリアを広げるチャンスです。

### 出願資格

- ① 厚生労働大臣の指定した保育士養成施設を卒業または2015(平成27)年3月卒業見込で、保育士資格を取得または取得見込の者。
- ② キリスト教信仰に基づく本学の教育方針を尊重する者。
- ★ 専攻科 介護福祉専攻の受験をご希望の方は、本学にお問い合わせください。専用出願書類一式をお送りします。
- 和泉短期大学卒業生は、入学金が免除されます(290,000円)。
- 教育訓練給付(学び直し支援)で国の補助を受けられる場合があります。詳細は本学へお問い合わせください。

### 入試日程

選考方法	作文、個人面接、書類審査
時間割	9:30～9:40 オリエンテーション 9:40～10:40 作文 10:50～ 個人面接

### 試験日程 <C日程>

出願期間	2015年1月22日(木)～1月30日(金)
選考日	2015年2月4日(水)
可否通知発送日	2015年2月5日(木)
入学手続期間	2015年2月6日(金)～2月20日(金)

### 試験日程 <D日程>

出願期間	2015年2月16日(月)～2月27日(金)
選考日	2015年3月2日(月)
可否通知発送日	2015年3月5日(木)
入学手続期間	2015年3月6日(金)～3月13日(金)

※和泉短期大学卒業生は、9時40分から個人面接を実施します。